

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会職員行動原則

令和4年 4月 1日

愛知県社会福祉協議会

社会福祉協議会（以下「社協」という）は、その法制化以来、住民主体による地域福祉の推進をめざし、制度だけでは対応しづらい様々な福祉課題に対して福祉サービスや相談援助などの個別支援と地域における協働による解決を重視して、住民が主人公となる社会福祉のあり方を追求してきました。

私たちは、愛知県社協設立70周年を期に、これまで築き上げてきた社協職員としての価値観や使命感を「愛知県社協行動原則」として共有し、誇りをもって行動します。

【尊厳の尊重と自立支援】

私たちは、人々の尊厳と自己決定を尊重し、その人が抱える福祉課題を解決し、安心して生き生きと地域で普通に暮らせる社会が実現できるよう最善を尽くします。

- 人々の尊厳と基本的人権を尊重し、援助を必要とする人が心豊かに地域社会の一員として生活が継続できるよう支援します。
- 個別の支援にあたっては、常に相手の立場に立ち、その人らしく生活できるように自己決定を尊重し、自立に向かうよう支援します。

【福祉コミュニティづくり】

私たちは、住民が身近な地域における福祉について関心をもち、福祉活動に参加する住民主体によるコミュニティづくりを目指します。

- 様々な機会を通じて、住民が身近な地域で相互に交流し、また地域の福祉課題に目を向け、話し合いや学び合う場づくりを進め、自らも積極的に参加します。
- 住民自らが身近で地域において支え合いや支援活動に参加する福祉コミュニティづくりを意識的、計画的に取り組めます。

【住民参加と連携・協働】

私たちは、住民参加と地域の連携・協働により業務を行うことを心がけ、地域に根ざした先駆的な取組を応援し、地域福祉を推進する実践や活動を広げます。

- 社協が住民組織、社会福祉施設、民生委員・児童委員、ボランティアやNPOなどあらゆる地域の関係者による地域福祉を進める協働・協議の場（プラットフォーム）をつくる役割があることを理解し、あらゆる業務において、住民参加と地域における多様な組織や活動との連携・協働を心がけます。
- 地域の先駆的な取組を発掘・応援し、また、福祉活動に取り組む人々の育成に努め、地域福祉を推進する活動や実践を広げます。

【地域福祉の基盤づくり】

私たちは、福祉課題を地域全体の問題として捉え、新たな事業や活動の開発、提言活動や計画づくりの取組に積極的に関わり、地域福祉の基盤づくりの役割を担います。

- 地域の実情を常に把握し、そこで捉えた福祉課題を地域全体の課題として捉え、先駆性をもって事業や活動の開発や改善に取り組み、さらに提言運動を行い課題解決に向けたアクションに繋がります。
- 中期計画等の策定などの機会を捉え、福祉・保健・医療の連携によるより良い制度づくりや地域福祉の財源づくり、福祉コミュニティの実現など地域福祉の基盤づくりの取組みに積極的に参画します。

【自己研鑽、チームワーク、チャレンジ精神】

私たちは、自己研鑽を重ね、職員同士のチームワークと部所間の連携を進め、チャレンジ精神を持って業務を遂行します。

- 愛知県社協職員としての自覚を持ち、自己研鑽に努め専門性を高めます。また、職員同士と部所間の情報共有に努め、お互いの役割を認識し協働しあえる環境をつくり、チームワークにより業務を遂行します。
- 常に地域の福祉課題に目を向け、チャレンジ精神や先駆性を持って業務を進めます。また、自らの業務の評価と改善に努め、コスト意識を持って効果的な業務を遂行します。

【法令遵守、説明責任】

私たちは、法令を遵守し、自らの組織や事業に関する説明責任を果たし、信頼され開かれた組織づくりを進めます。

- 関係法令の遵守はもちろん、社会的規律や職場内ルールに則った行動をします。
- 職務上知り得た個人情報は、関係法令に基づき適切に対応します。また、プライバシーを尊重し、関係者との情報共有の際には、定められた手続きに基づき適切に対応し、その秘密を保持します。
- 住民や関係者に対して、社協の業務について十分な説明責任を果たすことに努めます。